

# 第1回 大阪・関西万博きょうと基本構想検討会 議事要旨

## 1. 日時・場所

日時：令和4年12月6日（火） 午前9時00分～午前11時00分

場所：ホテルルビノ京都堀川 地下1階 平安の間

## 2. 出席者

### 【委員】（19名）

山極委員（座長）、安藤委員、尾池委員、岡田委員、岡村委員（代理出席）、奥井委員、河合委員、城崎委員、日下委員（代理出席）、後藤委員、齋藤成雄委員、齋藤茂委員、千委員、田中委員、西谷委員、平尾委員、村上委員、山地委員（代理出席）、山下委員

### 【オブザーバー】（1名）

小橋オブザーバー

## 3. 議事概要

冒頭、座長あいさつの後、事務局から、大阪・関西万博全体の動向や関西パビリオンの概要を共有の上、京都における基本構想策定に向けた進め方や取組の方向性のたたき台について説明を行い、各委員から意見をいただいた。

### 〈座長あいさつ〉

- ・ 万博が京都の産業界、自治体、文化界、アカデミアが一堂に会して未来を示す「ショーケース」となれば。
- ・ 未来を担う若い人を積極的に巻き込んでいきたい。

### 〈主な意見〉

- ・ 万博を一過性のイベントで終わらせるのではなく、未来へと繋げていくことが重要。
- ・ 京都は過去を保存しつつ、先端技術や新たな発想を取り込みながら発展してきた。それを世界に発信することが大事。
- ・ 京都は環境先進地であり、「環境」というキーワードを構想にも盛り込んでいくべき。
- ・ 京都に移転する文化庁との連携も視野に入れるべき。
- ・ 世界中から研究者や学生が集まる京都の強みを生かし、スタートアップとの連携による活力と独創性に溢れた取組を進めるべき。
- ・ 京都の人が当たり前と感じている「京都の日常」は魅力的なものであり、国内外に発信していくべき。
- ・ 表に出ない下支えの部分を見てもらってこそ、奥深い京都の文化を感じていただける。
- ・ 京都が誇る中小企業の優れた技術を世界中にPRすべき。
- ・ 北部・中部・南部で万博と連動したイベントを行い、府域全域に人を呼び込めると良い。
- ・ 京都ブースにおいて、京都の今あるそのままの生活を体験いただくといったことも検討してはどうか。

以上